

# 平成30年度 学校経営計画及び学校評価【城星学園中学校・高等学校】

## 1 めざす学校像

城星学園は、カトリックの精神に基づき、創立者聖ヨハネ・ボスコ（ドン・ボスコ）の教育理念である『道理』と『信仰』と『愛』に根ざした教育法によって、園児、児童、生徒の全人間教育に励み、神を敬い、人を愛し、自然を大切にする『良心的な人間、よき社会人』を育成することを使命としています。

「教育は心の問題であり、青少年を愛するだけでは足りません。  
青少年が愛されていると感じられるように彼らと共に生きる」

## 2 中期的目標

- 1 アシステンツァを実践する
  - ① キリスト教精神に基づく教育活動の実践
  - ② 教職員対象のカトリック教育
  - ③ 創立者ドン・ボスコと共同創立者マリア・マザレロについての学び
  - ④ 保護者の啓発
- 2 「園児・児童・生徒の安全」管理を徹底する
  - ① 危機管理及び防災備蓄体制の確立
  - ② 咄嗟に備えた対応力の要請－臨場感のある実地訓練の実施
  - ③ 安全管理体制の公開及び発信
- 3 『「良心的な人間、よき社会人」を育成する教職員』を育成する
  - ① 学園全体の教職員研修の実施
  - ② 社会貢献活動の展開
  - ③ 教育活動従事者としての意識と技術の向上
- 4 中高改革プロジェクトを推進する
  - ① 「2020」に向う体制づくり
  - ② 中高改革プロジェクトの推進
- 5 自然に挨拶が交わせる学園にする
  - ① 教職員間のコミュニケーション円滑化－教職員紹介ブックの作成
  - ② 園児・児童・生徒、保護者への挨拶の励行
  - ③ お客様、業者への挨拶の励行

## 【自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見】

ア. 自己評価アンケート結果と分析	イ. 学校関係者評価委員会からの意見
<p>&lt;評価が相対的に高かった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習環境の面で安全である</li> <li>○施設設備の安全管理が行き届いている</li> <li>○清掃が行き届いている</li> <li>○教育内容の公開に努めている</li> <li>○緊急時の情報伝達が適切</li> </ul> <p>(すべて満足度85%以上)</p> <p>&lt;評価が相対的に低かった項目&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育が十分である</li> <li>○授業が分かりやすい</li> <li>○学校の授業で十分な学力が身に付く</li> <li>○家庭での学習が十分行われている</li> </ul>	<p>学校法人城星学園学校関係者評価委員会は理事会・後援会（保護者）・各学校種管理職・評議員（学識経験者）により構成されている。平成30年度学校評価に関する検討は令和元年5月28日（火）に行われた。</p> <p>&lt;意見&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育内容について</li> </ul> <p>キャリア教育に関する設問が他の設問に比し低いことから、保護者の期待と学校側の取り組みにギャップがあるものと評価できる。キャリア教育にもう少し時間をかけることが必要ではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教育目標と授業について</li> </ul> <p>「授業のわかりやすさ」「授業での十分な学力習得」等の評価が低くなっており、教育活動の進め方と学力伸長の見直しの必要性を強く感じる。一方で、これらについては家庭(保護者)の協力が不可欠であり、学校と保護者の教育目標の再確認も必要だと感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○愛校心について</li> </ul> <p>卒業生を母校に迎えるイベント(ホームカミング)があれば、愛校心が高まり、卒業生の口コミで次の世代の生徒が集まるというサイクルができるのではないかと。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 アッシステンツアを実践する	アッシステンツアを充実させる	ア) カトリックの精神、ドン・ボスコの教育、特に「アッシステンツア」の理解を深める  イ) 祈りを励行する  ウ) 学園の教育精神についての保護者の理解度を向上させる	設問「学校は建学の精神および教育理念に沿った教育を行っている」のA・B評価が80%以上。  設問「学校は、保護者に対して建学の精神および教育理念の説明をわかりやすく行っている」のA・B評価が80%以上。  設問「建学の精神および教育理念に共感できる」のA・B評価が80%以上。	学校評価アンケート結果を評価指標とし、それを踏まえて自己評価を実施することとする。  ア) A・B評価 78.1%。一人ひとりの教員がもっとドン・ボスコの教育思想を自らの日ごろの教育に反映して実践していかなければならない。(△)  イ) A・B評価 78.6%。生徒の朝夕のマリア像前での祈りを慎ましい所作として励行させる。(△)  ウ) A・B評価 82.7%。学期毎に保護者対象の「聖書+α」等の勉強会を実施する計画だったが、実現できなかった点が反省材料である。(○)
2 「園児・児童・生徒の安全」徹底する 管理を	生徒の安全を確保するための環境を整備する	ア) 教員の危機管理意識を向上させ、安心、安全な教育環境をつくる  イ) 安全教育を進展させる  ウ) 保護者との情報共有を図る	設問「学校の施設・設備は安全管理が行き届いている」のA・B評価が80%以上。  設問「生活指導により、基本的な生活習慣が身に付いている」のA・B評価が80%以上。  設問「教職員は、保護者の相談に適切に対応している」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 86.7%。安心安全な環境づくりのために、日頃のさらなる意識向上が求められる。(○)  イ) A・B評価 66.4%。生徒指導部より全校集会時に生徒に説諭しているが、生徒各自の意識向上を図らなければならない。(△)  ウ) A・B評価 73.2%。前年度より評価は上がったが、保護者との信頼関係をさらに高め、情報を共有することに努める。(△)
3 『「良心的な人間、よき社会人」を育成する教職員』を育成する	教員はそれぞれにプロの集団の一員であることを自覚し、その向上を常とする	ア) 2020を見据え、授業力・担任力向上のための教員研修を実施する  イ) 組織として動く  ウ) 生活指導を徹底する	設問「教員は十分な指導力を有している」のA・B評価が80%以上。  設問「教員間での連携が十分に図られている」のA・B評価が80%以上。  設問「生活指導の方針は適切である」のA・B評価が80%以上。	ア) A・B評価 57.8%。研修の機会を生かし、自らを高め自らが個人的に研修することが望ましい。(△)  イ) A・B評価 58.6%。各部署のチームワークとハーモニーの中で、各自が成長することを期待する。(△)  ウ) A・B評価 71.1%。教師である前に、あるべき人間として自らを省みる姿勢が求められる。(△)

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
4 中高改革プロジェクトを推進する	中高改革プロジェクトの実行	<p>ア)「主体的に考え、行動し、学ぶ生徒」の育成を目指す</p> <p>イ) 兄妹校間の連携を強化する（教科、部活動等、可能なところから大阪星光学院の教員との接触、交流の場を増やす）</p> <p>カ)「はぐくみの園」を中心に、校種間の交流を模索する</p>	<p>設問「学校の教育目標について満足している」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「学校は、地域との連携を積極的に図っている」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「幼小中高の連携が取れている」のA・B評価が80%以上。</p>	<p>ア)A・B評価 56.3%。マリアン・メソッドによる学びの森計画の立案まで前進した。(△)</p> <p>イ)A・B評価 57.9%。大阪星光学院の連携への一層の誠意ある熱意を期待するとともに、本校としても積極的な連携をいっそう模索する。(△)</p> <p>カ)A・B評価 51.2%。前年度より評価は高まっているが、「学園は一つ」という意識をもっと共有しなければならない。(△)</p>
5 自然に挨拶が交わされる学園にする	組織的な縦横の繋がりを強化する	<p>ア) 他校種、法人の教職員と共にあることを意識する</p> <p>イ)『良き社会人』としての模範となる</p> <p>カ) 来校者に対し、教員、生徒共に挨拶を励行する</p>	<p>設問「幼小中高の連携が取れている」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「教職員は社会人としての良識をわきまえた言動を実践している」のA・B評価が80%以上。</p> <p>設問「教職員は気持ちの良い挨拶を行っている」のA・B評価が80%以上。</p>	<p>ア)A・B評価 51.2%。交流の妨げになるものは何もないため、より積極的に連携を図っていく。(△)</p> <p>イ)A・B評価 69.3%。教員の挨拶も生徒の挨拶もともに十分とはいえない。隔てなく言葉を交わすふれあいの心を育てていきたい。(△)</p> <p>カ)A・B評価 82.8%。チームワークの意識をもっと向上させなければならない。(○)</p>